

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス noin

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		ともによりよく生きる				
支援方針		未来を考え今出来ることから ありのままを受け止めること、変化をうながすこと				
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	一日や一週間の生活リズムなど聞き取り、困り感を共有し、適宜アドバイスをする。 疲労具合に合わせて活動を調整し、そのことを話題にする。本人が疲れやすい行事や出来事を振り返り、自分で気づき、いずれ工夫できるようにサポートする。				
	運動・感覚	ボール遊びや机上遊びなどを通してちょうど良い力加減を知ってもらう。 感覚について、どんな時に不快になりやすいか等振り返り、過ごしやすい環境や過ごし方など見通しを持てるようになってもらう。 身体をほぐすために、必要に応じてトランポリンやキャッチボールなどの活動を取り入れる。				
	認知・行動	会話や遊びを通して『〇〇したら△△になる』といった因果関係の理解を深め、行動を変えていけるようにする。 遊びを通してお互いが楽しく過ごすためにルールが必要であることを伝えていく。				
	言語 コミュニケーション	会話や遊びを通して今どういう状況なのか、自分の気持ちなどを具体的に尋ね、説明をしてもらう。 情報を整理して、スタッフの考えも共有し、知識を得られるように伝える。 本人の好きなこと、興味関心から楽しいを共有し、その後、援助要請や他者と折り合いをつける力を身に付けてもらう。				
	人間関係 社会性	悔しさを仕方のないことと思えたり次への糧に気持ちが切り替えられるように、どうなれば取り組みそうか代替案を話し合う。 気持ちを落ち着ける方法として、呼吸法を促す。 本人の好きなこと、興味関心から楽しいを共有し、その後、援助要請や他者と折り合いをつける力を身に付けてもらう。				
家族支援		本人のうまくいっていることや芽生え、がんばっていること、切り替えの方法など共有。 心理士による育児相談。	移行支援		MOI！、所属先、双方の情報を共有する。	
地域支援・地域連携		子ども部会の参加。		職員の質の向上		毎月1回のケース検討会の実施。 心理士によるスーパーバイズ。
主な行事等						